

# 第 22 回マルちゃん杯 中国・四国少年柔道大会

＜第 72 回国民体育大会（愛顔<sup>えがお</sup>つなぐえひめ国体）柔道競技リハーサル大会＞

## (1) 目 的

柔道の試合を通じて心身の鍛練及びその技能を磨き、将来を担う中国・四国の少年相互の親睦を図り、明るく、正しく、そしてたくましい少年の健全育成を目的とする。

## (2) 参加資格

対象は小・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中学校に在学している者であって、「学校」「柔道会」「クラブ」「スポーツ少年団」単位とする。

なお、平成 28 年度全日本柔道連盟に未登録の団体（チーム）は参加を認めないので、未登録の団体（チーム）は、速やかに所属の都道府県協会（連盟）から団体登録を行うこと。

## (3) 試合種目

小学生の部、中学生男子の部、中学生女子の部による団体試合とする。

## (4) 審判規定

(1) 試合は、国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会特別規定による。

(2) 試合時間はベスト 16 までは 2 分間とし、ベスト 8（準々決勝）からは 3 分間とする。

(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が 1 以内の場合には「引き分け」とする。

## (5) 試合方法

(1) 試合方法は、各部ごとのトーナメント戦で行う。

(2) 先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の順に試合（体重の軽い順）

## (6) 表彰

(1) 各部とも、優勝、準優勝、第 3 位（2 チーム）には、東洋水産株式会社及び一般財団法人愛媛県柔道協会から賞状及び賞品を授与する。

なお、中学生男子の部は、第 5 位（2 チーム）についても、賞状及び賞品を授与する。

(2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部 1 名にフレッド・ワダ杯を授与する。

(3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、小学生の部及び中学生男子の部は 5 名に、中学生女子の部は 3 名に優秀選手賞を授与する。

(4) 全国規模大会への派遣

小学生の部上位 4 チーム、中学生の部上位 6 チーム、中学生女子の部：上位 2 チームを派遣する。